



## キラリ話題の人

### 永倉 智恵子さん

元栃木県教育委員会指導主事  
元小中学校教諭



**作** 家の司馬遼太郎が菜の花の黄色を好んだことから、亡くなった2月12日を「菜の花忌」とし、司馬遼太郎記念館や佐野市で毎年偲ぶ行事が行われています。

1945年、22歳の司馬遼太郎は、旧陸軍の将校として植野小学校で終戦を迎え、同じ年の永倉智恵子さんは、教員として植野小に勤務していました。菜の花忌の2月は、智恵子さんの誕生日でもあり、今年101歳になりました。歳を重ねるごとに自身の生きてきた道、とりわけ佐野にも迫りくる米軍への恐怖、そして終戦のあの夏のことを思い起こすそうです。

「司馬さんは寡黙で鋭い眼差しが印象的で、こんなに有名になるとは全く思わなかった。訓練の空き時間にはよく勉強していましたね」と振り返ります。陸軍が植野小を離れる時に送別会があり、智恵子さんは司馬さんの隣の席で別れを惜しみました。

## 菜の花忌に想う

音楽教師だった智恵子さんは、佐野西中に転勤し、NHK合唱コンクールで優勝。吾妻中では、栃木県女子師範学校時代にテニスで国体に出場した経験から、テニス部を指導し、県優勝など、生徒と飛び上がった喜んだことが懐かしいと話されます。

また、戦後の混乱から音楽のほかに数学も担当し、もっと学びたくなり、学校勤務をしながら日本大学通信課程で経済学を専攻しました。「授業がとても刺激的で楽しく、大学の先生方が女性を尊敬してくれました。時間が足りず電車の中で勉強し、大変でしたが、本当に行ってよかった」とほほ笑みます。

「誰もが自由で平和な今『老いの細道の今日一日に感謝です』と語る智恵子さん。この時代の女性として、力強く、しなやかに歩んでこられたことに、佐野に住む後輩として誇りに思います。」

(市民記者 永倉文子)



ようこそ

## 市長室からこんにちは!



佐野市長  
金子 裕

新年度となり、入学、入社など新たなスタートを迎えた皆さん誠におめでとうございます。新しい環境に早く慣れ、夢や希望に向かって進んでください。

さて、今月から新年度となり、新たに始まる事業がありますので、少し触れたいと思います。

はじめに、教育センターが運営する登校に不安や悩みを抱える児童生徒のための支援教室の増設です。3月までは、市南部の教育センター内にある支援教室「アクティヴ教室」1カ所だけでしたが、通室する児童生徒数が増加傾向であることと、保護者の皆さまの送迎の負担を考慮し、市北部の戸室町に、みんなのまなびば「マイルーム」を新設しました。教室名の「マイルーム」は保護者の方の案で「外に出ることが怖いと感じる子にも、自分の部屋のように安心して過ごせる場所になつてほしい」という願いがこめられています。建物は旧田沼

シルバーワークプラザを活用し、居心地の良い場所となるよう、必要な改修を行いました。

次に、新たに費用助成を始める、おたふくかぜと帯状疱疹の予防接種についてお話しします。

おたふくかぜは、一部の方に難聴などの合併症が起こることがあり、また、帯状疱疹は、発症すると強い痛みや、神経痛といった後遺症が残ることがあります。その予防のためのワクチン接種費用は高額となりますので、費用を一部助成し、発症者を減らすとともに、重症化を予防していきたいと思っております。

予防接種の変更点などを含め、この広報さの30ページ「健康情報」に詳細が記入しておりますので、こちらもご確認ください。

気温差の大きい季節となります。体調に気を付けてお過ごしください。



跡地利用で再認識

## 自然豊かな氷室地区に最新のグランピング施設



①



②



③最後の卒業生の記念碑

少子化に伴う児童生徒の減少によって全国で廃校が増え続けています。昭和37年3月に閉校になった氷室中学校跡地が民間企業の工場として利用され更に今回グランピング施設として活用されることになりました。

閉校して60年以上経過していますが、最後の卒業生の記念の石碑はきれいな状態で保存されていました。そして学校の跡地らしく相当な樹齢のイチヨウの木や桜の木も残されていて季節を感じることができます。市内でホテルやレストランも経営されているオーナーの吉川英作さんにお話を伺ってきました。「できる限り佐野市内、栃木県内の地元食材にこだわりたい」また「少し小高い立地なので災害対策でも役に立ちたい」「花火やたき火など、都会で体験するのが難しくなった事もここではできます。グランピングが佐野を訪れるきっかけになれば嬉しい」とたくさんの地元愛を話してくださいました。

(市民記者 芝口明子)



## 生涯学習フォーラム 2024

3月2日(土)・3日(日)の2日間、市文化会館で生涯学習フォーラム2024「佐野楽」が行われました。

開会後の基調講演では「佐野市民の皆さんと少年の日」と題し、画家の安藤勇寿さんが会場の皆さんからの質問に答える形で、作品に対する思いや行動することの大切さについてお話しされました。続いて、安藤さんと金子市長が、市の芸術分野の取り組みなどについて対談をしました。

そのほか、子ども・子育てやまちづくりについて分科会が開催され、3日(日)は、大ホールにてステージ発表、また、2日・3日をとおして、各種サークルの活動発表、展示・体験コーナーなどが設けられました。



## 佐野ブランド姫♪ SKE48福士奈央「凱旋ライブ」

2月23日(金祝)、葛生あくとプラザにて「SKE48福士奈央凱旋ライブ～ねえ 佐野の姫を好きになっちゃったの?～」が開催されました。

このイベントは、佐野ブランド姫でSKE48に所属する福士奈央さん(佐野市出身)のグループ活動10年、そして今年4月末のグループ卒業に当たり、これまで各所で佐野市のPRなどを実施していただいたことに感謝し、佐野市が開催しました。

さのまるもメンバーの皆さんと一緒にダンスを披露し、客席では市民の皆さんと遠方からのファンの皆さんが一体となり、大いに盛り上がっていました。